

麻酔科における研修の目標, 方略(方法)及び評価

1 独自の研修目標・目的

- (1) 緊密で寸刻を争う環境でのチームワークを養う。
- (2) 麻酔や手術侵襲に伴う意識や呼吸, 循環, 代謝などの急激な変動を体験し全身管理の基礎とする。
- (3) 蘇生や重症患者管理に欠かせない気道確保や酸素療法, 人工呼吸, 鎮静鎮痛法, モニタリング等を手術室やICUにおいて体験する。
- (4) 痛みの基本的な捉え方, 診断や治療法とその適応を学ぶ。

2 麻酔科研修の特徴

- (1) リスクの比較的小さな患者さんを通して1の(1)(2)(3)を学ぶ極めて貴重な場である。
- (2) 一定以上の症例について, 連続して集中して経験できる。

3 研修の目標・目的達成のための方略・方法

- (1) 麻酔症例は, 指導医のもと, 1対1で術前評価, 術前回診, 実際の麻酔, 術後回診を行なう。
- (2) ICUにおいては, 毎朝センター長回診に参加し, センター担当医とともに診療に当たる。
- (3) ペインクリニックでは, 患者さんの予診を行なうとともに, 担当医とともに診療に当たる。

4 目標達成の評価

- (1) 当院作成の評価表に研修医評価及び経験症例数を記入し, 指導医の評価を受ける。
- (2) ローテーション終了時において指導医や看護部による総合的評価を受ける。

5 検査

- (1) 手術室やICUで用いられるリアルタイムの患者監視装置の解釈と処置を経験する。
- (2) 手術室固有の検査である, 体温モニター, 食道心エコー, 無侵襲心拍出量測定, 呼吸ガスモニター等を経験する。

6 カンファランス

- (1) 毎朝, 担当する症例のカンファレンスを行なう。
- (2) 週に1回, 特徴のある症例についてのカンファレンスを行なう。
- (3) 月1回の救命救急センター症例検討会に参加する。

7 週間スケジュール

		午前	午後	夕方	
月	センター 回診 症例 カン ファ レン ス	麻酔	実習	術前 ・ 術後 訪問	
火		麻酔	実習		
水		ICU	実習		
木		麻酔	実習		
金		ペインクリニック 実習	麻酔実習		症例検討会